報道発表資料

東京消防庁　Tokyo　Fire　Department

令和元年１０月１７日

第７２回「都民の消防官」表彰について

「都民の消防官」表彰は、産経新聞社の主催により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功労が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和３０年に制定されたもので、これまで３３１人が受章しています。

１　受章者（詳細は別紙のとおり）

⑴　**消防活動功労**

丸の内消防署　消防司令補　坂本（さかもと）　和久（かずひさ）

⑵　**救急活動功労**

王子消防署　消防司令補　増田（ますだ）　利夫（としお）

⑶　**予防業務功労**

北多摩西部消防署　消防司令補　坂本（さかもと）　範子（のりこ）

⑷　**機関運用功労**

麻布消防署　消防士長　青山（あおやま）　亮（まこと）

⑸　**山岳救助業務功労**

奥多摩消防署　消防司令補　杉山（すぎやま）　博士（ひろし）

２　表彰式

⑴　日　時

令和元年１０月２３日（水）　１０時２０分から（予定）

⑵　場　所

千代田区大手町一丁目７番２号

東京サンケイビル内　大手町サンケイプラザ　４階ホール

３　その他

⑴　取材の際は自社腕章を着用し、係員の指示に従ってください。

⑵　駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。

問合せ先

東京消防庁　電話 3212-2111

広報課報道係　２３４５～２３４９

別　紙

【消防活動功労】

丸の内消防署　消防司令補　坂本　和久（さかもと　かずひさ）

昭和５８年４月入庁以来、消防活動一筋に、弛まぬ努力と研鑽を重ね、都民の生命、身体、財産を守るため日夜尽力している。これまで培った経験と知識、さらに持ち前の旺盛な職務意欲により手腕を発揮し、都民からの負託に応えている。また、特別救助スペシャリストとして、若い職員の指導育成にも尽力している。

【救急活動功労】

王子消防署　消防司令補　増田　利夫（ますだ　としお）

昭和５３年４月入庁以来、救急活動一筋に職務に取り組み、救急隊長として豊富な知識と技術を有し、献身的な姿勢でその重責を担ってきた。救急スペシャリストとして、後進の指導にも尽力しており、現在も救急隊長として昼夜をわかたず救急活動に徹し都民の負託に応えている。

【予防業務功労】

北多摩西部消防署　消防司令補　坂本　範子（さかもと　のりこ）

昭和５９年４月入庁以来、予防業務一筋に、長年培った経験、知識及び技術を遺憾なく発揮し、都民の生命、財産を守るために尽力している。高度化・多様化する予防行政に対応するため、常に新しい知識と技術の研究に取り組み、予防業務の第一線で活躍している。また、防火管理スペシャリストとして、若い職員の指導育成にも尽力している。

【機関運用功労】

麻布消防署　消防士長　青山　亮（あおやま　まこと）

昭和５６年１１月入庁以来、長年にわたり常に災害活動現場の第一線で、ポンプ車機関員・指揮隊機関員として活躍し、都民の生命、身体、財産を守るため尽力してきたものである。自らの実践力と高度な知識・技術を若年層職員に惜しみなく指導し、次世代機関員の育成に多大な成果を挙げている。

【山岳救助業務功労】

奥多摩消防署　消防司令補　杉山　博士（すぎやま　ひろし）

昭和５３年４月入庁以来、長年にわたり山岳救助業務の第一線で活躍し、数多くの人命救助にあたってきた。山岳救助スペシャリストにも認定され、長年の豊富な経験と実績に裏付けされた知識、技術を活かし現在も最前線で活躍するとともに、若手職員に指導・助言を行うなど、豊富な経験で得た知識及び技術の伝承にも努めている。